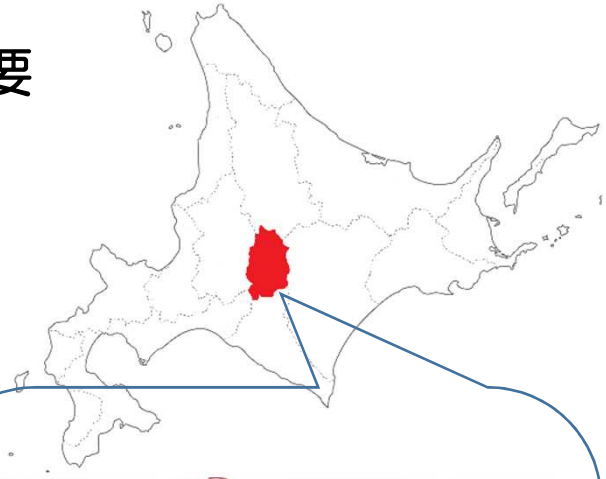
富良野岳山頂から望む十勝岳方向

令和５年度

管内概要

林野庁 北海道森林管理局
上川南部森林管理署

上川南部森林管理署の概要



当署管内は北海道のほぼ中央に位置しています。石狩山地、夕張山地および日高山脈に接しており、北部に富良野盆地が広がっている山岳地域です。水系は空知川と鵡川に分かれており、それぞれの源流部に位置しています。

管内の国有林は、上富良野町、富良野市、南富良野町、占冠村の１市２町１村に広がっており、面積は約１１５千ｈａで、管内市町村の55%を国有林が占めています。

十勝岳、芦別岳、夕張岳などの雄大な山々が多く、優れた自然に恵まれていることから、管内国有林は、大雪山国立公園や富良野芦別道立自然公園に指定されている地域があります。

＜管内国有林の管理経営の考え方＞

1　公益重視の管理経営の一層の推進
- 重視すべき機能を５タイプに区分
- 天然力を活用した多様な森林づくり
- 山地災害対策の強化に向けた取組
- 生物多様性の保全

2　林業の成長産業化への貢献等
- 低コスト造林技術等を積極的に推進

3　「国民の森林」としての管理経営

＜当署の沿革＞

戦前、管内国有林は、御料林と北海道庁所管の国有林に分かれていましたが、戦後、昭和２２年の林政統一により、御料林及び道庁所管の国有林がともに農林省に移管され、旭川営林局管轄として幾寅、金山、富良野の３つの営林署が発足しました。

平成１１年には組織の抜本的改革により３署が統合され「上川南部森林管理署」が発足し、金山、富良野には森林管理センターが設置されました。
（平成１３年に金山、富良野森林管理センター廃止）

平成２５年に国有林野事業は一般会計に移行し、現在に至っています。

上川南部森林管理署の組織

署長

次長

【総務グループ】
総括事務管理官
　主任事務管理官（総務）
　事務管理官（経理）

【業務グループ】
総括森林整備官
　主任森林整備官（経営）
　森林整備官（森林育成・森林ふれあい）
　森林整備官（資源活用）
　森林整備官（経営・資源活用）

【治山グループ】
総括治山技術官
　治山技術官

森林技術指導官

森林土木指導官

森林情報管理官

【森林事務所】
首席森林官（幾寅、トマム担当区）
首席森林官（落合、奥落合担当区）
首席森林官（双珠別、仁々宇担当区）
首席森林官（富良野、山部担当区）
森林官（金山担当区）
森林官（占冠担当区）
森林官（上富良野担当区）

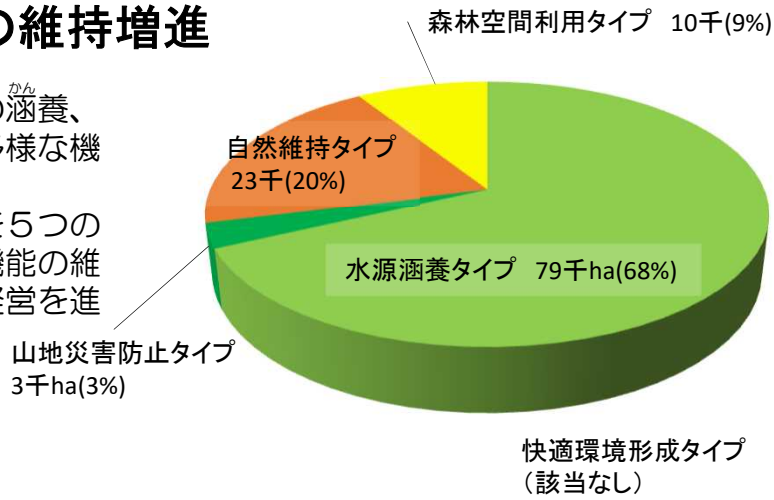
市町村別管理面積

関係市町村	面積(ha)	担当区
南富良野町　48,150ha	6,957	幾寅
	9,368	落合
	14,663	奥落合
	17,094	金山
	68	トマム
占冠村　48,305ha	12,661	
	14,449	占冠
	11,772	双珠別
	9,423	仁々宇
富良野市　14,442ha	4,382	富良野
	6,259	山部
	3,801	上富良野
上富良野町　4,208ha	4,208	
管　内　計	115,105	

森林の機能を活かす

森林の公益的機能の維持増進

森林には国土の保全、水源の涵(かん)養、保健・文化、木材生産など多様な機能があります。
これらの機能を踏まえ森林を５つの機能類型に区分し、公益的機能の維持増進に重点を置いた管理経営を進めています。



水源涵養タイプ

自然維持タイプ

山地災害防止タイプ

森林空間利用タイプ

森林を保護する

保護林

保護林は、原生的な森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、施業および管理技術の発展等に特に資することを目的として区域を定め、禁伐等の管理経営を行うことにより保護を図っている森林です。

また、保護林を「緑の回廊」として相互につないで、生き物の移動経路を確保している森林もあります。

大雪山森林生態系保護地域

夕張岳生物群集保護林

大雪・日高緑の回廊

管内の保護林等の面積

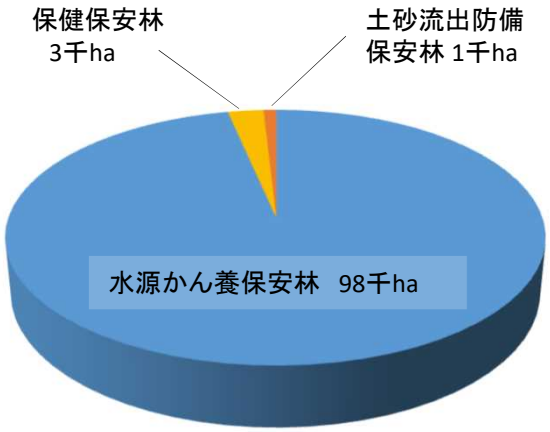
名　　称	面積(ha)
大雪山森林生態系保護地域	9,323
日高山脈森林生態系保護地域	582
夕張岳生物群集保護林	484
希少個体群保護林(4箇所)	1,120
大雪・日高緑の回廊(52km)	5,521

森林により守る

保安林

保安林は、水源の涵(かん)養、土砂崩壊等の災害の防止、生活環境の保全・形成等特定の公益目的を達成するため指定される森林です。

保安林では、それぞれの目的に沿った森林の機能を確保するため、立木の伐採や土地の形質の変更等が規制されます。



水源かん養保安林

治山事業

治山事業は、森林の維持造成等を通じて山地に起因する災害から国民の生命・財産を保全し、また、水源かん養、生活環境の保全・形成等を図る事業です。

構造物の作設に当たっては、周辺環境や景観に配慮した工法も採用しています。

景観に配慮した治山ダム（富良野）

地すべり地の復旧（占冠）

森林で癒やす

レクリエーションの森

豊かな自然環境を積極的に利用するため、美しい森林や山岳、渓谷、湖沼などの景勝地および野外スポーツに適した森林空間等をレクリエーションの森として選定し、国民の保健・文化・教育的利用に広く提供しています。

石勝高原トマム山スキー場　野外スポーツ地域

富良野スキー場　野外スポーツ地域

管内のレクリエーションの森の面積

名　　称	面積（ha）	（所在地）
富良野スキー場　野外スポーツ地域	456	（富良野市）
占冠スキー場　野外スポーツ地域	5	（占冠村）
南富良野スキー場　野外スポーツ地域	10	（南富良野町）
石勝高原トマム山スキー場　野外スポーツ地域	1,623	（占冠村）
赤岩風景林	61	（占冠村）
十勝岳風致探勝林	190	（上富良野町）

森林とふれあう

ふれあいの森

ボランティア団体等が森林管理署と協定を締結し、国有林内で自主的な森林整備活動を目的に設定しているフィールドです。

「トマムふれあいの森」での活動

遊々の森

学校等が森林管理署と協定を締結し、森林内での子どもたちの学習活動を目的に設定しているフィールドです。

「太陽の里・ふれあいの森」での学習活動
（写真：富良野市生涯学習センター提供）

フィールドの提供状況

名　　称	面積（ha）
＜ふれあいの森＞	
トマムふれあいの森	20.52
＜遊々の森＞	
太陽の里・ふれあいの森	10.03
自然体感ニニウの森	6.94

令和4年度のトピックス

乗車型自走式刈払機実演会を開催

７月２８日、トマム国有林２５２ほ林小班において標記実演会を開催。市町村関係者を中心に14名が出席しました。

当該地は、令和３年度から省力化の一環として乗車型自走式刈払機による下刈を行っています。

オペレータは２年目ということもあり、機械の特性に基づいた安全で効率的な使用方法について研究を重ねており貴重な体験談に、参加者からは勉強になったとの声も寄せられました。

占冠村中央小学校で森林教室を実施

１０月２４日、占冠中央小学校全校生徒（２９名参加）を対象に～五感フル回転！秋の森で遊ぼう～と題して森林教室を実施しました。

メインは当署の森林インストラクター考案の「色探し」。事前にくじ引きで探す色を２色決めてもらい、公園内にある「森の落とし物」をグループで捜してもらうプログラム。探す色は運任せ、最初苦戦をしていましたがコツを掴むと様々なものを探しだす子ども達の感性には驚かされました。

全天球カメラを活用した森林調査勉強会を実施

２月９日、占冠村役場職員を対象に森林調査の勉強会を開催しました。

森林管理署では、従来行ってきた標準地調査等の森林調査に代わる方法として全天球カメラ等のデジタル機器を活用した森林調査を導入しています。慣れないせいかあまり普及していませんが、作業従事者自体の省力化や作業工程アップなどの他に記録の可視化が図れるなどメリットも多くあり、今後とも積極的に普及に努めて行きたいと思います。

令和5年度の主な事業量

区　分		単位	令和5年度	備　考
販売量	立木販売	m3	25,318	分収造林、分収育林含む
	製品販売	m3	44,247	
造　林	更　新	ha	5	
	保　育	ha	52	つる切、除伐の減
林　道	新　設	m	2,420	
治山事業		百万円	566	

注1：造林の更新は、新植、改植の植付、天Ｉ地拵の合計である。
注2：造林の保育は、下刈、つる切、除伐、除伐2類、根踏、保育間伐（高齢級含む）の合計である。
注3：造林の更新、保育面積には、治山費による実行分を含む。

上川南部森林管理署庁舎
南富良野町所在（平成14年落成）

林野庁 北海道森林管理局

上川南部森林管理署

幾寅・落合・金山森林事務所

〒079-2401
北海道空知郡南富良野町字幾寅
TEL: 0167-52-2772
050-3160-5750

占冠・双珠別森林事務所

〒079−2201
北海道勇払郡占冠村字中央
TEL: 0167-56-2803

富良野森林事務所

〒076−0023
北海道富良野市栄町１７－１
TEL: 0167-23-8600

上富良野森林事務所

〒071-0563
北海道空知郡上富良野町緑町１丁目８－３
TEL: 0167-45-2004